

salesforce

---

# Salesforce-Pardot コネクター 実装ガイド

Salesforce, Spring '21



本書の英語版と翻訳版で相違がある場合は英語版を優先するものとします。

© Copyright 2000–2020 salesforce.com, inc. All rights reserved. Salesforce およびその他の名称や商標は、salesforce.com, inc. の登録商標です。本ドキュメントに記載されたその他の商標は、各社に所有権があります。

# 目次

2019年2月11日以前に購入されたアカウントの Salesforce-Pardot コネクタ の設定 .....	1
Salesforce-Pardot コネクタの使用に関する考慮事項 .....	1
同じメールアドレスで複数のプロスペクトを作成できるアカウント向けの考慮事項 .....	3
ステップ 1: Salesforce-Pardot コネクタ (コネクタ v1) をインストールする .....	4
Pardot AppExchange アプリケーションのインストール .....	4
Pardot コネクタユーザー権限セットの割り当て .....	5
コネクタユーザーへのオブジェクト権限の割り当て .....	5
Pardot での Salesforce-Pardot コネクタの追加 (コネクタ v1) .....	6
ステップ 2: Salesforce-Pardot コネクタに関する Salesforce の設定を行う .....	7
取引先責任者項目への Pardot のカスタムリード項目のマッピング .....	7
Salesforce での Pardot データの表示 .....	8
Salesforce ページレイアウトへのカスタム Pardot ボタンの追加 .....	8
Salesforce への Pardot 標準アクションの追加 .....	9
ページレイアウトへのスコアリングカテゴリのスコアの追加 .....	10
Salesforce で Pardot データへのアクセス権をユーザーに付与 .....	10
ステップ 3: Pardot を設定する .....	10
Salesforce と Pardot のカスタム項目のマッピング .....	11
Pardot と Salesforce ユーザーの接続 .....	12
Salesforce-Pardot コネクタのテスト .....	16
プロスペクトの初回同期のトリガー .....	17



# 2019年2月11日以前に購入されたアカウントの Salesforce-Pardot コネクターの設定

Salesforce-Pardot コネクターでは、Pardot と Salesforce 間でプロスペクトと商談のデータを同期します。Pardot は Salesforce Professional Edition 以上のアカウントと同期できます。2019年2月11日以前に Pardot を購入した場合は、Salesforce-Pardot コネクターのインストールおよび設定の手順に従ってください。

 **ヒント:** この手順の PDF バージョンをダウンロードすると便利です。

## Salesforce-Pardot コネクターの使用に関する考慮事項

Salesforce-Pardot コネクター (v1) を設定する前、またはコネクター (v2) を一時停止解除する前に、項目とプロスペクトの同期、ユーザーのマッピング、他の設定タスクなど、以下の考慮事項を確認してください。

### 同じメールアドレスで複数のプロスペクトを作成できるアカウント向けの考慮事項

Salesforce の同期で最も重要なことは、Pardot のプロスペクトと Salesforce のリード、取引先責任者、個人取引先との関係を 1 対 1 に対応付けることです。メールアドレスが同一の複数のプロスペクトを許可しているアカウントでは、Salesforce コネクターは双方向同期の一致条件として CRM ID を使用します。

### ステップ 1: Salesforce-Pardot コネクター (コネクター v1) をインストールする

Pardot パッケージをインストールしたら、コネクターユーザーに適切な権限があることを確認します。次に、Pardot 内にコネクターを作成します。このプロセスは、Salesforce-Pardot コネクターのバージョン 1 にも適用されます。

### ステップ 2: Salesforce-Pardot コネクターに関する Salesforce の設定を行う

設定中に Salesforce システム管理者は、カスタム項目のマッピング、ページレイアウトへの Pardot コンポーネントの追加、ユーザーへの Pardot データアクセス権の付与ができます。

### ステップ 3: Pardot を設定する

Pardot 管理者は、カスタム項目とユーザーのマッピング、コネクターのテスト、プロスペクトの初回同期を行うことができます。

## Salesforce-Pardot コネクターの使用に関する考慮事項

Salesforce-Pardot コネクター (v1) を設定する前、またはコネクター (v2) を一時停止解除する前に、項目とプロスペクトの同期、ユーザーのマッピング、他の設定タスクなど、以下の考慮事項を確認してください。

### 全般

- Pardot 内で 1 つの Salesforce コネクターのみを持つことができます。
- Salesforce 組織でクリックジャック保護が有効になっている場合、Salesforce で Pardot のデータを表示するには、クリックジャック保護と互換性のある Visualforce ページを追加します。
- Pardot は Salesforce の個人取引先レコード種別と統合可能です。個人取引先の同期を有効にするには、Pardot サポートにお問い合わせください。

- Pardotにプロスペクトをインポートすると、プロスペクトはSalesforceと同期されます。未割り当てのプロスペクトはSalesforceと同期しますが、一致するメールアドレスがない場合、レコードは作成されません。
- PardotはSalesforce内およびPardot内の変更を最大で2分に1回チェックします。同期時間が長い場合は、Pardotサポートまでお問い合わせください。大量のレコードを同時に更新する場合、すべての変更の同期が完了するまで時間がかかることがあります。

## コネクタバージョン: 2

コネクタバージョン2を使用する場合、次の事項が適用されます。

- Pardotアカウントのプロビジョニング時には、コネクタは一時停止状態で作成されます。コネクタを一時停止解除する前に、設定を確認し、マーケティングデータ共有を使用する場合は設定してください。コネクタが一時停止解除されるまで、レコードは同期されません。プロスペクトは、プロスペクトレコードの[CRMと同期]またはリードまたは取引先責任者レコードの[Pardotに送信]を使用して手動で同期できます。
- インテグレーションユーザーは、SalesforceとPardot間で同期できるすべてのレコードにアクセスできます。共有されるレコードを制御するには、マーケティングデータ共有を設定してください。マーケティングデータ共有を使用する場合は、コネクタユーザーを目的の権限を持つユーザーに変更することができます。詳細は、「[Pardot インテグレーションユーザー](#)」を参照してください。
- 複数のPardotアカウントを1つのSalesforce取引先にリンクする場合、マーケティングデータ共有も併用していない限り、インテグレーションユーザーを使用することはできません。

## Salesforce と Pardot の項目の同期

- プロスペクト項目がSalesforceで更新されると、その項目に関連するルールが存在する場合にPardotオートメーションルールがトリガーされる可能性があります。
- Pardotでユーザーに割り当てられているプロスペクトは、Salesforceのレコードと同期していない場合、リードとして作成されます。

## Salesforce ユーザーへの Pardot ユーザーのマッピング

同期前に、プロスペクトが割り当てられているPardotユーザーをSalesforceユーザーにマッピングします。プロスペクトの割り当て済みユーザーがSalesforceユーザーにマッピングされていない場合、プロスペクトはSalesforceコネクタユーザーに割り当てられます。

## プロスペクトの同期

- Pardotは会社レベルではなく個人レベルで同期します。
- PardotはCRM IDに従って同期します。同期を行うには、プロスペクトがPardotとSalesforceで同じCRM IDを使用している必要があります。
- Pardotは同期対象として同じCRM IDを検索します。プロスペクトがSalesforceレコードと同期していない場合、Pardotは同期対象のリードを作成します。

- プロスペクトレコードに CRM ID がなく、メールアドレスを持つレコードが Salesforce に存在する場合、Pardot はこのレコードと同期します。プロスペクトと同じメールアドレスを持つレコードが Salesforce に複数ある場合、Pardot は見つけた最初のレコードと同期します。

## プロスペクトアクティビティおよびメールの同期

- ページビュー、フォーム完了、サイト検索、メールなど、Pardot アクティビティがプロスペクトの CRM レコードの [プロスペクトのアクティビティ] ウィンドウに表示されます。ただし、メールだけは CRM のアクティビティまたは ToDo として作成されます。
- Pardot プラグインを使用してリストメールや 1 対 1 のメールを送信すると、Pardot では CRM レコードのアクティビティセクションにメールのログが記録されます。
- メール同期はコネクタ設定で制御されます。

## 商談の同期

- 商談アクティビティは、デフォルトのスコアリングで使用されます (商談の作成はプラス 50 ポイント、商談の失注はマイナス 100 ポイント)。コネクタが有効な場合、それによってプロスペクトのスコアが更新されます。スコアの更新は、使用中のオートメーションルールやリードの割り当てルールに影響を及ぼす可能性があります。
- Salesforce で商談を使用しない場合、Pardot サポートが商談の同期を無効にできます。
- Salesforce に重複するレコードがある場合、アクティビティ iframe がすべてのレコードに表示されます。ただし、Pardot のデータ項目は Pardot が同期しているレコードにのみ表示されます。

## 同じメールアドレスで複数のプロスペクトを作成できるアカウント向けの考慮事項

---

Salesforce の同期で最も重要なことは、Pardot のプロスペクトと Salesforce のリード、取引先責任者、個人取引先との関係を 1 対 1 に対応付けることです。メールアドレスが同一の複数のプロスペクトを許可しているアカウントでは、Salesforce コネクタは双方向同期の一致条件として CRM ID を使用します。

特定のメールアドレスを持つリード、取引先責任者、または個人取引先が Salesforce に作成されると、一致する CRM ID を持つプロスペクトが Pardot に作成されます。各レコードのデータは、各項目で定義された同期動作に従って同期されます。プロスペクトが Pardot に作成されるのは、Salesforce コネクタユーザーに Salesforce のレコードへの権限がある場合のみです。

プロスペクトに CRM ID がなく、同じメールアドレスを持つ複数のレコードが Salesforce に存在する場合、プロスペクトは、最新のアクティビティを持つレコードと同期します。

プロスペクトが Pardot に作成され、同期開始の条件を満たす場合、コネクタの設定に従って Salesforce にレコードが作成されます。

メールアドレスが同一の複数のプロスペクトを許可しているアカウントでは、コネクタ設定が少なくなりません。コネクタは新しいリード、取引先責任者、または個人取引先を見つけると、プロスペクトを作成し、これらのレコード間で変更を同期します。Salesforce でマージされたレコードや削除されたレコードを検出すると、該当する Pardot のプロスペクトを更新し、削除されたレコードを Pardot のごみ箱に送信します。

## ステップ 1: Salesforce-Pardot コネクタ (コネクタ v1) をインストールする

Pardot パッケージをインストールしたら、コネクタユーザーに適切な権限があることを確認します。次に、Pardot 内にコネクタを作成します。このプロセスは、Salesforce-Pardot コネクタのバージョン 1 にのみ適用されます。

### Pardot AppExchange アプリケーションのインストール

Pardot で Salesforce コネクタを設定する前に、Pardot AppExchange パッケージを Salesforce 組織にインストールします。

### Pardot コネクタユーザー権限セットの割り当て

Pardot パッケージを Salesforce 組織にインストールしたら、コネクタユーザーに「Pardot コネクタユーザー」権限セットを付与します。

### コネクタユーザーへのオブジェクト権限の割り当て

Salesforce のセキュリティ制限により、Salesforce 標準オブジェクトに対するコネクタユーザーの権限はシステム管理者が手動で設定する必要があります。これらのオブジェクトは、「Pardot コネクタユーザー」権限セットではカバーされません。このステップは、Salesforce-Pardot コネクタ v1 を使用しているか、マーケティングデータ共有を使用しているアカウントにのみ適用されます。

### Pardot での Salesforce-Pardot コネクタの追加 (コネクタ v1)

Pardot 管理者は Pardot でコネクタの作成と設定ができます。このプロセスは、Salesforce-Pardot コネクタのバージョン 1 にのみ適用されます。

## Pardot AppExchange アプリケーションのインストール

Pardot で Salesforce コネクタを設定する前に、Pardot AppExchange パッケージを Salesforce 組織にインストールします。

**重要:** パッケージを AppExchange から直接インストールしないでください。パッケージは次の手順に従ってインストールする必要があります。

### 1. インストールリンクにアクセスします。

このパッケージは、リードおよび取引先責任者の下位のカスタムアプリケーション、カスタムタブ、カスタム項目で、Salesforce 取引先を更新します。この項目を表示するには、ビューの変更が必要になる場合があります。

### 2. アクションを確認し、[インストール] をクリックします。

### 3. インストールウィザードのステップ 2 (セキュリティレベルの選択) で、[管理のみへのアクセスの許可] を選択します。

### ユーザ権限

Pardot パッケージをインストールする

- 「AppExchange パッケージのダウンロード」(Salesforce 内)

## Pardot コネクターユーザー権限セットの割り当て

Pardot パッケージを Salesforce 組織にインストールしたら、コネクターユーザーに「Pardot コネクターユーザー」権限セットを付与します。

- ☑ **メモ:** 「Pardot コネクターユーザー」権限セットは、Pardot コネクターユーザーにのみ適用してください。このページから Engage 権限セットを割り当てないでください。Engage 権限はライセンスページから割り当てます。

始める前に、コネクターユーザーに次の権限があることを確認します。

- API の有効化
  - 「プロファイルと権限セットの管理」
  - すべてのユーザーの参照
  - 設定・定義を参照する
1. マーケティングの [設定] から、[クイック検索] ボックスに「ユーザー」と入力し、[ユーザー] を選択します。
  2. コネクターユーザーを選択します。
  3. [権限セットの割り当て] までスクロールして、[割り当ての編集] をクリックします。
  4. [利用可能な権限セット] ボックスで、[Pardot コネクターユーザー] をクリックしてハイライトし、[追加] 矢印ボタンをクリックします。
  5. ユーザーを保存します。

### ユーザ権限

権限セットを割り当てる

- 「権限セットの割り当て」(Salesforce)

オブジェクト権限を編集する

- 「プロファイルと権限セットの管理」

および

「アプリケーションのカスタマイズ」

(Salesforce)

## コネクターユーザーへのオブジェクト権限の割り当て

Salesforce のセキュリティ制限により、Salesforce 標準オブジェクトに対するコネクターユーザーの権限はシステム管理者が手動で設定する必要があります。これらのオブジェクトは、「Pardot コネクターユーザー」権限セットではカバーされません。このステップは、Salesforce-Pardot コネクター v1 を使用しているか、マーケティングデータ共有を使用しているアカウントにのみ適用されます。

- ☑ **メモ:** この権限を適用する方法は、ユーザーが自由に決定できます。権限についての詳細は、[ユーザー権限に関するドキュメント](#)を参照してください。

Pardot コネクターユーザーには、次の標準オブジェクトに対する次の権限が必要です。

オブジェクト名	オブジェクトの権限	項目の権限
Accounts	すべて表示	Pardot と同期するすべての標準およびカスタム項目
Campaigns	作成、編集、参照、すべて表示	Pardot と同期するすべての標準およびカスタム項目
CampaignMember	作成、参照、編集	Pardot と同期するすべての標準およびカスタム項目

オブジェクト名	オブジェクトの権限	項目の権限
Contacts	作成、編集、参照、すべて表示、すべて変更	Pardot と同期するすべての標準およびカスタム項目
Leads	作成、編集、参照、すべて表示、すべて変更	Pardot と同期するすべての標準およびカスタム項目
ObjectChangeLogs	すべて表示、すべて変更	すべて
Opportunity	すべて表示	Pardot と同期するすべての標準およびカスタム項目
Task	ToDo の編集	Pardot と同期するすべての標準およびカスタム項目
Users	すべてのユーザーの参照	Pardot と同期するすべての標準およびカスタム項目

 **メモ:** コネクタユーザーには、「設定・定義を参照する」権限も設定することをお勧めします。この権限を使用すると、サポートがコネクタに関する問題をトラブルシューティングできます。

## Pardot での Salesforce-Pardot コネクタの追加 (コネクタ v1)

Pardot 管理者は Pardot でコネクタの作成と設定ができます。このプロセスは、Salesforce-Pardot コネクタのバージョン 1 にのみ適用されます。

### ユーザ権限

Pardot で Salesforce コネクタを追加する

- Pardot の管理者ロール

1. [コネクタ] ページを開きます。
  - Pardot で、[管理]、[コネクタ] の順に選択します。
  - Lightning アプリケーションで、[Pardot 設定]、[コネクタ] の順に選択します。
2. [+ コネクタを追加] をクリックします。
3. [Salesforce] をクリックします。
4. [コネクタを作成] をクリックします。
5. コネクタユーザーのログイン情報を使用して Salesforce にログインします。
6. ログインしたら、[許可] をクリックして、コネクタユーザーにアカウントへのアクセス権を付与します。
7. コネクタ設定を選択します。
8. [完了] をクリックします。

Pardot が Salesforce との間でデータを送受信できる場合、コネクタは未検証とマークされます。

## ステップ 2: Salesforce-Pardot コネクタに関する Salesforce の設定を行う

設定中に Salesforce システム管理者は、カスタム項目のマッピング、ページレイアウトへの Pardot コンポーネントの追加、ユーザーへの Pardot データアクセス権の付与ができます。

### 取引先責任者項目への Pardot のカスタムリード項目のマッピング

Salesforce の項目をマッピングすると、変換時にすべての Pardot データがリードレコードから取引先責任者レコードに確実に取り込まれます。

### Salesforce での Pardot データの表示

AppExchange アプリケーションでは、Pardot 項目と Visualforce ページが追加されますが、それらは表示されません。Salesforce で Pardot 項目と Visualforce ページを表示するには、それらを Salesforce のリードおよび取引先責任者のページレイアウトに追加します。

### Salesforce ページレイアウトへのカスタム Pardot ボタンの追加

[Pardot に送信] ボタンを使用すると、Salesforce のリードや取引先責任者を Pardot に簡単に追加できます。対応するレコードが存在する場合、このボタンを使用すると、プロスペクトが作成される代わりにレコードが同期されます。[Pardot メールを送信] ボタンを使用すると、Pardot 権限セットが割り当てられた Salesforce ユーザーは、Pardot の追跡メールを Salesforce から送信できます。

### Salesforce への Pardot 標準アクションの追加

リストビューおよび特定のレコードページで Pardot ボタンおよびアクションを標準アクションとして Salesforce に追加します。クイックアクションレコードボタンは本番組織でのみサポートされ、Salesforce Sandbox ではサポートされません。

### ページレイアウトへのスコアリングカテゴリのスコアの追加

Pardot アカウントでスコアリングカテゴリを使用している場合、リードと取引先責任者のページレイアウトにスコアを追加できます。

### Salesforce で Pardot データへのアクセス権をユーザーに付与

AppExchange パッケージに付属する Pardot 権限セットを、Salesforce で Pardot データにアクセスまたは使用する任意のユーザーに適用します。

## 取引先責任者項目への Pardot のカスタムリード項目のマッピング

Salesforce の項目をマッピングすると、変換時にすべての Pardot データがリードレコードから取引先責任者レコードに確実に取り込まれます。

**重要:** Pardot URL リード項目と Pardot URL 取引先責任者項目をマッピングしないでください。これらの項目を相互にマッピングすると、重複するプロスペクトが作成され、Visualforce ページが壊れます。

1. リードのオブジェクト管理設定に移動します。
2. [リードカスタム項目 & リレーション] セクションで、[リード項目を対応付け] をクリックします。
3. [取引先責任者] タブをクリックし、項目をマッピングします。

### ユーザ権限

リード項目を対応付ける

- 「アプリケーションのカスタマイズ」  
(Salesforce)

- 完了したら保存します。

## Salesforce での Pardot データの表示

AppExchange アプリケーションでは、Pardot 項目と Visualforce ページが追加されますが、それらは表示されません。Salesforce で Pardot 項目と Visualforce ページを表示するには、それらを Salesforce のリードおよび取引先責任者のページレイアウトに追加します。

- リードまたは取引先責任者のページレイアウトを編集用を開きます。
  - Pardot カスタム項目をページレイアウトに追加します。
    - セクションをレイアウトに追加します。
    - セクションに名前を付けます。
    - [2列]を選択し、[OK]をクリックします。
    - ドラッグアンドドロップエディタの[項目]セクションに戻り、右にスクロールして Pardot カスタム項目を見つけます。
    - すべての Pardot カスタム項目を新しいセクションにドラッグします。
    - (省略可能) Google Analytics 項目をセクションにドラッグします。
  - Pardot アクティビティとリストメンバーシップをレイアウトに追加します。
    - セクションをレイアウトに追加します。
    - セクションに名前を付けます。
    - [1列]を選択し、[OK]をクリックします。
    - エディターで [Visualforce ページ] セクションまでスクロールします。
    - [Pardot アクティビティ]、[Pardot リストメンバーシップ]、および [Pardot ソーシャルデータ] を新しいセクションにドラッグします。
  - 完了したらレイアウトを保存します。
- リードと取引先責任者のページレイアウトに対して、これらのステップを繰り返します。

## Salesforce ページレイアウトへのカスタム Pardot ボタンの追加

[Pardot に送信] ボタンを使用すると、Salesforce のリードや取引先責任者を Pardot に簡単に追加できます。対応するレコードが存在する場合、このボタンを使用すると、プロスペクトが作成される代わりにレコードが同期されます。[Pardot メールを送信] ボタンを使用すると、Pardot 権限セットが割り当てられた Salesforce ユーザーは、Pardot の追跡メールを Salesforce から送信できます。

 **メモ:** [Pardot に送信] を使用するには、ユーザーの SSO が有効になっている必要があります。

- リードまたは取引先責任者のページレイアウトを編集用を開きます。

### ユーザ権限

ページレイアウトをカスタマイズする

- 「アプリケーションのカスタマイズ」(Salesforce)

### ユーザ権限

ページレイアウトをカスタマイズする

- 「アプリケーションのカスタマイズ」(Salesforce)

2. パレットで、[ボタン] カテゴリ (Classic) または [モバイルおよび Lightning のアクション] (Lightning Experience) までスクロールします。
  3. [Pardot に送信] ボタンと [Pardot メールを送信] ボタンを選択して [カスタムボタン] ボックスにドラッグします (Classic)。このボタンを Lightning Experience に追加するには、ボタンを [Salesforce モバイルおよび Lightning Experience のアクション] セクションにドラッグします。
  4. 完了したらページレイアウトを保存します。
- リードと取引先責任者のページレイアウトに対して、これらのステップを繰り返します。

## Salesforce への Pardot 標準アクションの追加

リストビューおよび特定のレコードページで Pardot ボタンおよびアクションを標準アクションとして Salesforce に追加します。クイックアクションレコードボタンは本番組織でのみサポートされ、Salesforce Sandbox ではサポートされません。

リードや取引先責任者オブジェクトなどの標準オブジェクトの [ページレイアウト] で Salesforce のレコードページにアクションを追加します。アクションをリストビューに追加するには、適切なオブジェクトの管理設定から検索レイアウトをカスタマイズします。

### ユーザ権限

カスタムボタンを作成する

- 「アプリケーションのカスタマイズ」

アクション	Salesforce での可用性
Pardot リストに追加	オブジェクトページレイアウト <ul style="list-style-type: none"><li>• Lead (リード)</li><li>• Contact (取引先責任者)</li></ul> リストビューオブジェクト <ul style="list-style-type: none"><li>• Lead (リード)</li><li>• Contact (取引先責任者)</li></ul>
Engagement Studio リストに追加	オブジェクトページレイアウト <ul style="list-style-type: none"><li>• Lead (リード)</li><li>• Contact (取引先責任者)</li></ul> リストビューオブジェクト <ul style="list-style-type: none"><li>• Lead (リード)</li><li>• Contact (取引先責任者)</li></ul>

## ページレイアウトへのスコアリングカテゴリのスコアの追加

Pardot アカウントでスコアリングカテゴリを使用している場合、リードと取引先責任者のページレイアウトにスコアを追加できます。

1. リードまたは取引先責任者のページレイアウトを編集用を開きます。
2. エディターで [関連リスト] をクリックします。
3. [Pardot Category Score (Pardot カテゴリスコア)] をレイアウトにドラッグします。
4. (省略可能) [スコアリングカテゴリ名]、[スコア]、および [最終更新日] のみを含め、スコアで降順に並べ替えるように [Pardot カテゴリスコア] プロパティを編集します。

### エディション

使用可能なエディション:  
Pardot **Plus** Edition、  
**Advanced** Edition、  
**Premium** Edition

### ユーザ権限

ページレイアウトをカスタマイズする

- 「アプリケーションのカスタマイズ」 (Salesforce)

## Salesforce で Pardot データへのアクセス権をユーザーに付与

AppExchange パッケージに付属する Pardot 権限セットを、Salesforce で Pardot データにアクセスまたは使用する任意のユーザーに適用します。

 **メモ:** このページから Engage 権限セットを割り当てないでください。Engage 権限はライセンスページから割り当てます。

1. マーケティングの [設定] から、[クイック検索] ボックスに 「権限セット」と入力し、[権限セット] を選択します。
2. [Pardot] をクリックします。
3. [割り当ての管理] をクリックします。
4. [割り当てを追加] をクリックします。
5. 権限セットの割り当て先のユーザーを選択します。
6. [割り当て] をクリックします。

### ユーザ権限

権限セットを割り当てる

- 「権限セットの割り当て」 (Salesforce)

## ステップ 3: Pardot を設定する

Pardot 管理者は、カスタム項目とユーザーのマッピング、コネクタのテスト、プロスペクトの初回同期を行うことができます。

### [Salesforce と Pardot のカスタム項目のマッピング](#)

Pardot 管理者は、プロスペクトと取引先のカスタム項目をマッピングし、それらの項目を Pardot と Salesforce 間で同期できます。

### Pardot と Salesforce ユーザーの接続

Salesforce ユーザーを Pardot ユーザーに関連付けて、割り当てとアクションを適切なユーザーに関連付けることができます。手動でユーザーをマッピングして SSO を設定するか、Salesforce ユーザーの同期を使用して Salesforce からユーザーを作成して管理できます。

### Salesforce-Pardot コネクタのテスト

Salesforce-Pardot コネクタを設定したら、テストして、コネクタが期待どおりに同期することを確認します。

### プロスペクトの初回同期のトリガー

Salesforce と Pardot を接続したら、既存のリードと取引先責任者を Pardot にインポートします。コネクタは Salesforce の既存のリードと取引先責任者から Pardot のプロスペクトを自動的に作成しません。インポート時に、Pardot はプロスペクトレコードを Salesforce の既存のリードまたは取引先責任者レコードと同期します。以降、どちらかのシステムのレコードが更新されると、その更新は自動的に同期されます。

## Salesforce と Pardot のカスタム項目のマッピング

Pardot 管理者は、プロスペクトと取引先のカスタム項目をマッピングし、それらの項目を Pardot と Salesforce 間で同期できます。

 **メモ:** Pardot と Salesforce のカスタム項目をマッピングするには、対応するカスタム項目を Pardot 内で作成する必要があります。

項目をマッピングするときは、次の考慮事項を念頭に置いてください。

- Salesforce 項目が Pardot 項目にすでにマッピングされている場合、その項目はドロップダウンに表示されません。
  - カスタム項目マッピングでは大文字と小文字が区別されます。
  - リードオブジェクトと取引先責任者オブジェクトのカスタム項目を同じ Pardot 項目にマッピングするには、Salesforce 項目の API 参照名が同じである必要があります。
  - Pardot 項目は Salesforce の参照項目または地理位置情報項目の種別と同期しません。
  - Pardot の数値型項目を Salesforce の電話型項目に同期しないでください。電話項目には数値以外の文字が含まれ、Pardot と正しく同期しません。代わりに、Salesforce の電話型項目を Pardot のテキスト型項目にマッピングします。
1. Pardot で、カスタム項目を編集用を開きます。
  2. [Salesforce 項目名] ドロップダウンから、マッピングする項目を選択します。
  3. (省略可能)[この項目のデータ型および可能性のある値(ドロップダウン、ラジオボタン、チェックボックス)を CRM と同期します]を有効にします。この設定により、項目設定の変更が Salesforce から Pardot に同期されます。
  4. (省略可能)同期動作を編集します。

同期するカスタム項目ごとに、この手順を繰り返します。

 **メモ:** Pardot カスタム項目を Salesforce 項目と同期しても、CRM との同期はトリガーされません。

### ユーザ権限

項目をマッピングする

- Pardot の管理者ロール

## Pardot と Salesforce ユーザーの接続

Salesforce ユーザーを Pardot ユーザーに関連付けて、割り当てとアクションを適切なユーザーに関連付けることができます。手動でユーザーをマッピングして SSO を設定するか、Salesforce ユーザーの同期を使用して Salesforce からユーザーを作成して管理できます。

### Salesforce を使用したユーザーの管理

Salesforce ユーザーの同期によって、Salesforce と Pardot の両方を使用するユーザーを効率的に管理できます。最初に、Salesforce ユーザーを割り当てて、接続されている Pardot ユーザーを作成します。Salesforce ユーザーの同期を有効にするか管理を Salesforce に移行したら、すべてのユーザーを Salesforce で管理します。両方のシステムでユーザーレコードを更新する必要はありません。

### 手動でのユーザーのマッピング

ユーザーが Pardot にアクセスするためには、Salesforce シングルサインオン (SSO) を有効にする必要があります。CRM ユーザー名を Pardot ユーザーに関連付け、Pardot と Salesforce 間の SSO を有効にします。

### ユーザー権限

ユーザー名をマッピングし、SSO を有効化する

- Pardot の管理者ロール

Salesforce ユーザーの同期を有効化する

- Pardot の管理者ロール

## Salesforce を使用したユーザーの管理

Salesforce ユーザーの同期によって、Salesforce と Pardot の両方を使用するユーザーを効率的に管理できます。最初に、Salesforce ユーザーを割り当てて、接続されている Pardot ユーザーを作成します。Salesforce ユーザーの同期を有効にするか管理を Salesforce に移行したら、すべてのユーザーを Salesforce で管理します。両方のシステムでユーザーレコードを更新する必要はありません。

### エディション

使用可能なエディション:  
すべての Pardot エディション

 **ヒント:** 簡単なナビゲーションと役に立つ実装のヒントについては、『[User Sync Implementation Guide \(ユーザー同期実装ガイド\) \(PDF\)](#)』を参照してください。

### Salesforce を使用したユーザーの管理に関する考慮事項

Salesforce ユーザーの同期を有効にして Salesforce を使用したユーザーの管理を開始する前に、次の考慮事項を念頭に置いてください。

### Salesforce ユーザーの同期を有効化

Salesforce から Pardot ユーザーを作成するには、Pardot システム管理者が Salesforce ユーザーの同期を有効にするか、ユーザー管理を Salesforce に付与する必要があります。

### Salesforce と Pardot のユーザー名のマッピング

すべての Pardot ユーザーを関連付けられた Salesforce ユーザーレコードにマップします。その後、Salesforce ユーザーの同期により同期済みユーザーに変換されます。Salesforce ユーザーの同期を使用しない場合、手動でユーザーの Salesforce シングルサインオン (SSO) を有効にできます。

### プロフィールとロールのマッピングの更新

Pardot 管理者はプロフィールとユーザーロールのマッピングを変更して、割り当て済み Pardot ユーザーに付与されるロールを更新できます。

## Salesforce を使用したユーザーの管理に関する考慮事項

Salesforce ユーザーの同期を有効にして Salesforce を使用したユーザーの管理を開始する前に、次の考慮事項を念頭に置いてください。

### Salesforce ユーザーの同期の有効化に関する一般的な考慮事項

-  **メモ:** Pardot アカウントまたはビジネスユニットが Summer '20 リリースより後に作成されている場合、Salesforce ユーザーの同期はデフォルトですでに有効になっています。Salesforce ユーザーの同期がすでに有効になっているかどうかを確認するには、Pardot アカウント設定を確認してください。Salesforce からユーザーを割り当てたら、それ以上のアクションは必要ありません。詳細については、「Pardot への Salesforce ユーザーの割り当て」を参照してください。
- Salesforce ユーザーの同期は、Summer '20 リリースより後に新規作成されたビジネスユニットおよびアカウントではデフォルトで有効になっています。
- 検証済みの Salesforce-Pardot コネクターが必要です。
- ビジネスユニットを切り替えるには、検証済みの Salesforce-Pardot v2 コネクターがあり、ユーザーの同期を有効にしている必要があります。
- Salesforce ユーザーの同期は、有効にした後に無効にすることはできません。
- ユーザーの作成および削除に関する問題を回避するには、Salesforce ユーザーの同期を有効にする前に Salesforce からユーザーを割り当てます。
-  **重要:** この機能を有効にするときは、本番環境でテストしないでください。CRM ユーザーに接続されているが Salesforce から割り当てられていない Pardot ユーザーは、Salesforce ユーザーの同期を有効にしたときにアーカイブされます。
- 重複の作成を回避するために、割り当てられたユーザーが Pardot でアーカイブされている場合、ごみ箱から削除されて同期されます。
- 通常、ユーザーレコードへの変更は 10 分以内に同期されます。数万のユーザーを持つアカウントの場合、同期に 1 時間かかる可能性があります。
- 場合によって、割り当てられたユーザーの CRM データへのアクセスレベルが Salesforce と Pardot で異なることもあります。管理者は、マーケティングデータ共有条件に一致する Salesforce 共有ルールを手動で作成してこれらの共有ルールを Pardot マーケティングユーザーグループに適用することで、権限を同等にできます。たとえば、ビジネスユニット A でリードのマーケティングデータ共有条件が「Region\_\_c=United States」の場合、そのリードオブジェクトの Salesforce 共有ルールを「Region\_\_c = United States」にします。その共有ルールをビジネスユニット A の Pardot マーケティングユーザーグループに適用します。

### ユーザー管理

- Salesforce システム管理者は、Pardot に割り当てるユーザーを選択できます。Salesforce ユーザーがマーケティングの [設定] から割り当てられると、そのユーザーが Pardot に作成されます。
- 同期済みユーザーは、許可される IP 範囲やログイン時間の制限など、すべての Salesforce ログイン制限に従います。
- URL、HTML メール署名、テキストメール署名、ロール、タグなど、一部の Pardot ユーザー項目は Salesforce に同期されません。これらの項目は Pardot で編集できます。他のすべてのユーザー項目は Salesforce で編集します。

- Salesforce ユーザーの同期を有効にしたら、Pardot でユーザーをインポートすることはできません。代わりに、Salesforce からユーザーのインポートと同期を行います。
- 新しい同期済みユーザーの Pardot メール通知は無効になっています。ユーザーまたは Pardot 管理者は Pardot でメール通知を手動で有効にできます。
- 同期済みユーザーの Salesforce 言語が日本語、フランス語、ドイツ語、またはスペイン語に設定されている場合、Pardot 言語がその言語を反映して更新されます。ユーザーは Pardot ユーザー設定でこの設定を変更できます。

## Salesforce ユーザーの同期を有効化

Salesforce から Pardot ユーザーを作成するには、Pardot システム管理者が Salesforce ユーザーの同期を有効にするか、ユーザー管理を Salesforce に付与する必要があります。

### ユーザ権限

Salesforce ユーザーの同期を有効化する

- Pardotの管理者ロール

 **メモ:** Pardot アカウントまたはビジネスユニットが Summer '20 リリースより後に作成されている場合、Salesforce ユーザーの同期はデフォルトですでに有効になっています。Salesforce ユーザーの同期がすでに有効になっているかどうかを確認するには、Pardot アカウント設定を確認してください。Salesforce からユーザーを割り当てたら、それ以上のアクションは必要ありません。詳細については、「Pardot への Salesforce ユーザーの割り当て」を参照してください。

 **重要:** この機能を有効にする前に、次の前提条件を確認してください。

- 検証済みの Salesforce コネクタが必要です。また、コネクタユーザーに、必要な権限が設定されている必要があります。「[Pardot と Salesforce の接続](#)」を参照してください。
- Salesforce ユーザーの同期を有効にする前に Salesforce でユーザーを割り当てます。
- Pardot ユーザーを監査して、ユーザーが適切な CRM ユーザー名にリンクされていることを確認します。Salesforce ユーザーの同期を有効にした後、ユーザーをリンク解除することはできません。

1. [ユーザー] ページを開きます。[管理] (Lightning アプリケーションでは [Pardot の設定]) を選択し、[ユーザ管理] > [ユーザ] を選択します。
2. [Salesforce ユーザーの同期を有効化] をクリックします。
3. 画面上のメッセージに従います。
4. Salesforce プロファイルを Pardot ユーザーロールにマッピングします。選択されたプロファイルを持つすべての割り当て済み Salesforce ユーザーが、割り当てられた Pardot ロールを持つ Pardot ユーザーとして作成されます。
5. 設定を確認します。
6. プロファイルのマッピングが完了したら、[ユーザーの同期を有効化] をクリックします。

通常、ユーザーは 10 分以内に作成されます。数万のユーザーを持つアカウントの場合、作成に 1 時間かかる可能性があります。

## Salesforce と Pardot のユーザー名のマッピング

すべての Pardot ユーザーを関連付けられた Salesforce ユーザーレコードにマップします。その後、Salesforce ユーザーの同期により同期済みユーザーに変換されます。Salesforce ユーザーの同期を使用しない場合、手動でユーザーの Salesforce シングルサインオン (SSO) を有効にできます。

 **メモ:** 開始する前に、必ずマッピングする Pardot ユーザーと Salesforce ユーザーを作成しておいてください。

1. Pardot ユーザーレコードを編集用に開きます。
  2. [CRM ユーザー名] ドロップダウンから Salesforce ユーザーを選択します。
  3. ユーザーを保存します。
  4. ユーザーレコードの [CRM ユーザー] 行で [今すぐ検証] リンクをクリックします。
- マッピングするユーザーごとに、この手順を繰り返します。

## プロファイルとロールのマッピングの更新

Pardot 管理者はプロファイルとユーザーロールのマッピングを変更して、割り当て済み Pardot ユーザーに付与されるロールを更新できます。

1. [コネクター] ページを開きます。
  - Pardot で、[管理]、[コネクター] の順に選択します。
  - Lightning アプリケーションで、[Pardot 設定]、[コネクター] の順に選択します。
2. Salesforce コネクターの横にある  をクリックし、[編集] をクリックします。
3. Pardot Lightning アプリケーションで、[ユーザーの同期] タブをクリックします。Pardot で [Salesforce ユーザーの同期] に移動します。
4. ドロップダウンを使用して Salesforce プロファイルを Pardot ロールにマッピングします。
5. 完了したらコネクターを保存します。

プロファイルのマッピングを更新すると、10分以内に Salesforce プロファイルを持つすべての割り当て済み Pardot ユーザーに新しいロールが付与されます。通常、ユーザーは10分以内に同期されます。数万のユーザーを持つアカウントの場合、作成に1時間かかる可能性があります。

### ユーザ権限

Salesforce ユーザーの同期のマッピングを編集する

- Pardot の管理者ロール

## 手動でのユーザーのマッピング

ユーザーが Pardot にアクセスするためには、Salesforce シングルサインオン (SSO) を有効にする必要があります。CRM ユーザー名を Pardot ユーザーに関連付け、Pardot と Salesforce 間の SSO を有効にします。

### Salesforce と Pardot のユーザー名のマッピング

すべての Pardot ユーザーを関連付けられた Salesforce ユーザーレコードにマップします。その後、Salesforce ユーザーの同期により同期済みユーザーに変換されます。Salesforce ユーザーの同期を使用しない場合、手動でユーザーの Salesforce シングルサインオン (SSO) を有効にできます。

### Salesforce および Pardot の SSO の設定

Salesforce ユーザーの同期を使用しない場合、ユーザーが Pardot にアクセスするには Salesforce シングルサインオン (SSO) が必要です。SSO により、ユーザーはアプリケーションランチャーや各自の Salesforce ログイン情報を使用して Salesforce と Pardot 間を移行できます。

## Salesforce と Pardot のユーザー名のマッピング

すべての Pardot ユーザーを関連付けられた Salesforce ユーザーレコードにマップします。その後、Salesforce ユーザーの同期により同期済みユーザーに変換されます。Salesforce ユーザーの同期を使用しない場合、手動でユーザーの Salesforce シングルサインオン (SSO) を有効にできます。

 **メモ:** 開始する前に、必ずマッピングする Pardot ユーザーと Salesforce ユーザーを作成しておいてください。

1. Pardot ユーザーレコードを編集用に開きます。
2. [CRM ユーザー名] ドロップダウンから Salesforce ユーザーを選択します。
3. ユーザーを保存します。
4. ユーザーレコードの [CRM ユーザー] 行で [今すぐ検証] リンクをクリックします。

マッピングするユーザーごとに、この手順を繰り返します。

## Salesforce および Pardot の SSO の設定

Salesforce ユーザーの同期を使用しない場合、ユーザーが Pardot にアクセスするには Salesforce シングルサインオン (SSO) が必要です。SSO により、ユーザーはアプリケーションランチャーや各自の Salesforce ログイン情報を使用して Salesforce と Pardot 間を移行できます。

 **メモ:** Pardot ユーザーの管理を合理化するために、Salesforce ユーザーの同期を設定することを強くお勧めします。

1. [ユーザー] ページを開きます。[管理] (Lightning アプリケーションでは [Pardot の設定]) を選択し、[ユーザ管理] > [ユーザ] を選択します。
2. SSO を有効にするユーザーを選択します。
3. テーブルの下のドロップダウンから、[Salesforce シングルサインオンを有効化] を選択します。

SSO を有効にすると、ユーザーは各自の Salesforce ログイン情報や Pardot Lightning アプリケーションを使用して Pardot にアクセスできます。

## Salesforce-Pardot コネクターのテスト

Salesforce-Pardot コネクターを設定したら、テストして、コネクターが期待どおりに同期することを確認します。

### メールアドレスが同一の複数のプロスペクトを許可しないアカウントのテスト

1. 新しい Pardot プロスペクト (既存の Salesforce レコードあり) — CRM に存在するプロスペクトレコードを Pardot 内に作成します。レコードが同期するかどうかを確認するには、[CRM と同期] をクリックするか、10 ~ 15 分待って、コネクタが同期を開始するかどうかを確認します。

2. 新しい Pardot プロスペクト (新しい Salesforce レコード) — 存在していない Salesforce レコードのメールアドレスを使用して Pardot 内にプロスペクトレコードを作成します。同じメールアドレスを使用して Salesforce 内にレコードを追加します。レコードが同期するかどうかを確認するには、[CRMと同期]をクリックするか、10～15分待って、コネクタが同期を開始するかどうかを確認します。
3. Pardot 内でプロスペクトを割り当てる — Salesforce に存在していないメールアドレスを使用して Pardot 内にプロスペクトを作成し、そのプロスペクトをユーザーに割り当てます。レコードが Salesforce 内に作成されるかどうかを確認します。
4. 新しい CRM レコードからのプロスペクトの自動作成 — Salesforce でレコードが追加されたときに Pardot でプロスペクトを作成するようにコネクタを設定している場合、Pardot に存在しないメールアドレスを使用して Salesforce レコードを作成します。Pardot に新しいレコードがあるかどうかを確認します。

## メールアドレスが同一の複数のプロスペクトを許可するアカウントのテスト

1. Pardot 内でプロスペクトを割り当てる — Pardot 内にプロスペクトを作成し、そのプロスペクトをユーザーに割り当てます。レコードが Salesforce 内に作成されるかどうかを確認します。
2. Salesforce 内にレコードを作成する — Salesforce レコードを作成します。レコードが同期されるまで待つか、[Pardot に送信]をクリックして手動で同期します。レコードが Pardot 内に作成されるかどうかを確認します。

## プロスペクトの初回同期のトリガー

Salesforce と Pardot を接続したら、既存のリードと取引先責任者を Pardot にインポートします。コネクタは Salesforce の既存のリードと取引先責任者から Pardot のプロスペクトを自動的に作成しません。インポート時に、Pardot はプロスペクトレコードを Salesforce の既存のリードまたは取引先責任者レコードと同期します。以降、どちらかのシステムのレコードが更新されると、その更新は自動的に同期されます。

- ☑ **メモ:** メールアドレスが同一の複数のプロスペクトを許可するアカウントの場合、CRM ID を使用してインポートし、リードと取引先責任者をプロスペクトと照合する必要があります。CRM ID ではなくメールアドレスでプロスペクトをインポートすると、Salesforce でリードや取引先担当者が重複して作成されてしまいます。